

教科	自立活動	単元名	いちばん大事なものは
----	------	-----	------------

本時のねらい

友だちとずっと会話が続けられるよう、自分の姿をふりかえり、動画や文字起こしされた文章を参考にしながら、会話の仕方を考えることができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・友だちともっと楽しく話したいという思いに応え、撮影した動画や文字起こしされた文章から自分の姿をふりかえることができる。
- ・動画やアプリで記録することで、自分の会話をふりかえることができるようにする。
- ・NHK for school の動画を視聴し、会話の広げ方の例を見ることで、自分が会話する際の参考にできるようにする。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・マイシード（オクリンク）
- ・大型モニター
- ・カメラアプリ
- ・UD トーク
- ・Google ドライブ
- ・NHK for school

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・単元中のめあて 	
	めあて 自分の会話をふりかえり、みんなとずっと話せるようになろう！	
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れを確認する。 ・会話の法則（「①しりとり法則」「②どうして？の法則」）をふりかえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・閲覧してきたNHK for school の動画は、家庭でも一度閲覧することで、活動する時間を確保する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・会話の様子を動画とアプリで記録する。【写真1】 ・動画と文字起こしされた文章を見て、会話の法則が使われているかや聞くときの姿勢、話すときの様子等を確認し、どのようにすれば楽しい会話になるか考える。【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を撮影する児童は、会話する児童の顔を中心に、それぞれ撮影する。 ・撮影された動画を見ると、姿勢や態度、目線等についても考えることができる。 ・アプリで文字起こしを行うことで、会話を文章で見ることができ、会話の法則が使えているか検証できる。 ・アプリでは声が小さかったり、相手と同時に話したりすると、文字起こしができないことを話し合いの際には伝える。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った結果をもとに、再度会話をする。【写真3】 ・会話で大事にしていきたいポイントを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画等は Google ドライブにアップロードし、いつでも見返せるようにする。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】会話の様子をカメラアプリや UD トークで撮影している場面



【写真2】撮影された動画や UD トークで文字起こしされた文章を見て、話し合う場面



【写真3】自分たちの分析をもとに、再度会話しながら文字起こしを行っている場面

児童生徒の反応や変容

- ・自分たちの会話の様子を客観的に見ることができることから、自分の課題を見つめ、どのように会話していけば良いかを考えるようになった。
- ・なかなか会話が続きはじめの状態と比べると、話し方や聞き方に改善が見られ、会話が長くようになってきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・支援学級の担任が見つけた児童たちの課題から授業を構成し、児童たちにその課題を気付かせるために ICT を用いた。その結果、児童たちが自分の課題に気付き、それを改善したいというニーズが生まれることで、長期間に及ぶ単元にも意欲的に取り組むことができた。
- ・自分たちの会話の内容を動画や文字で確認することで可視化でき、相手に伝わりやすい言葉遣いや表現の仕方を、学級の児童全員で共有することができた。